

科目名	コンピュータシステムⅠA										
科目名(英)											
単位数	6単位		時間数		90時間		担当者		北島仁宇・元田真史・奥野広成・松浦仁志		
実施年度	2020年度		実施時期		前期		担当者実務経験		ITエンジニアとして開発業務に従事		
対象学科・学年	情報システム科・情報システム専攻科・情報工学科 1年										
授業概要	経済産業省主催 基本情報技術者試験、ITパスポート試験の出題範囲に準拠し、IT人材として必要な基礎知識のうち、情報の基礎理論やハードウェア・ソフトウェア等に関する知識及びセキュリティに関する知識を学ぶ。 基礎的な用語や考え方について体系的に学習し、演習問題を活用して知識の習熟を高める。										
授業形式	講義：○		演習：		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標					
	○					ハードウェアソフトウェア分野の用語について説明できる					
	○					セキュリティ分野の用語について説明できる					
	○	○				表や文章に書かれている情報を元に計算式を導き出すことができる					
テキスト・教材 参考図書	基本情報処理技術者 試験対策テキストⅠ【ベーステクノロジー編】(TAC株式会社) 基本情報処理技術者 試験対策テキストⅡ【システムの利用と開発編】(TAC株式会社) 基本情報技術者午前問題集(株式会社インフォテックサーブ)										
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1～5	基礎理論1(基数変換)					テキストの該当範囲を事前に読み、わからない用語を調べておくこと(1時間)				
	6～11	基礎理論2(応用数学・確率統計・構文解析)					テキストの該当範囲を事前に読み、わからない用語を調べておくこと(1時間)				
	12～16	コンピュータシステム(コンピュータ構成要素)					テキストの該当範囲を事前に読み、わからない用語を調べておくこと(1時間)				
	17～20	コンピュータシステム(システム構成要素)					テキストの該当範囲を事前に読み、わからない用語を調べておくこと(1時間)				
	21～22	コンピュータシステム(ソフトウェア)					テキストの該当範囲を事前に読み、わからない用語を調べておくこと(1時間)				
	23	コンピュータシステム(ハードウェア)					テキストの該当範囲を事前に読み、わからない用語を調べておくこと(1時間)				
	24～27	情報セキュリティ(情報セキュリティマネジメント、リスク、暗号)					テキストの該当範囲を事前に読み、わからない用語を調べておくこと(1時間)				
	28～30	情報セキュリティ(ディジタル署名、認証、インターネットセキュリティ)					テキストの該当範囲を事前に読み、わからない用語を調べておくこと(1時間)				
	31～32	情報セキュリティ(ウイルス対策、ファイアウォール、不正対策)					テキストの該当範囲を事前に読み、わからない用語を調べておくこと(1時間)				
	33	復習(午前免除対策)					テキストの該当範囲を事前に読み、わからない用語を調べておくこと(1時間)				
	34～45	午後対策					前回までの授業で分からなかった点をまとめておくこと(1時間)				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業の中で確認テストを3回実施する。(3)授業の中で課題を指示する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。										
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他 評価割合	
	定期試験	◎		◎						50%	
	確認テスト・課題レポート	◎		◎				○		40%	
	受講状況							◎		10%	
履修上の注意											

科目名	コンピュータシステムⅡA									
科目名(英)										
単位数	6単位		時間数		90時間		担当者		小淵洋子・北島仁宇・姫野マリ 松浦仁志・松嶋貴志	
実施年度	2020年度		実施時期		前期		担当者実務経験			
対象学科・学年	情報システム科・情報システム専攻科・情報工学科 1年									
授業概要	経済産業省主催 基本情報技術者試験の出題範囲に準拠し、IT人材として必要な基礎知識のうち、データベース・システム開発・ストラテジ／マネジメント分野に関する知識を学ぶ。 基礎的な用語や考え方について体系的に学習し、演習問題を活用して習熟を図る。									
授業形式	講義： ○		演習：		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標				
	○					データベースおよびシステム開発分野の用語について説明できる				
	○	○				SQL文を理解し、記述されたSQL文の正しい実行結果を予測・選択できる				
	○	○				データベース設計の手順を応用し、システム要件に則った設計を行うことができる				
	○					ストラテジ／マネジメントに関する用語について説明できる				
テキスト・教材 参考図書	基本情報処理技術者 試験対策テキストⅡ【システムの利用と開発編】(TAC株式会社) 基本情報処理技術者 試験対策テキストⅢ【マネジメントと戦略編】(TAC株式会社) 基本情報技術者午前問題集(株式会社インフォテックサーブ) IPA午前免除試験過去問題集(麻生情報ビジネス専門学校)									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1 2	【データベース/開発】データベースの導入、関係データベース演算、正規化								
	3	【ストラテジ/マネジメント】プロジェクトマネジメント								
	4 5	【データベース/開発】正規化、SQL_SELECTの基本、SQL_結合								
	6	【ストラテジ/マネジメント】サービスマネジメント								
	7 8	確認テスト(データベース設計)、SQL_整列、SQL_グループ化					授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)			
	9	【ストラテジ/マネジメント】経営戦略_経営戦略手法								
	10 11	【データベース/開発】SQL_単一行副問合せ、SQL_複数行副問合せ								
	12	【ストラテジ/マネジメント】経営戦略_ビジネスシステム、e-ビジネス、企業会計								
	13 14	【データベース/開発】SQL_データ定義								
	15	【ストラテジ/マネジメント】IEとOR								
	16 17	【データベース/開発】SQL_データ操作、確認テスト(SQL)、DBMS					授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)			
	18	【ストラテジ/マネジメント】品質管理技法								
	19 20	【データベース/開発】障害回復、システム開発モデル								
	21	【ストラテジ/マネジメント】法務								
	22 23	【データベース/開発】開発アプローチ図解技法								
	24	【ストラテジ/マネジメント】システム監査								
	25 26	【データベース/開発】ソフトウェア方式設計、テスト技法								
	27	【ストラテジ/マネジメント】情報システム戦略								
	28 29	【データベース/開発】確認テスト(システム開発技術)、ソフトウェア開発管理技術					授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)			
	30	【ストラテジ/マネジメント】業務プロセス、ソリューションビジネス								
	31 -33	検定試験問題演習					検定試験対策演習を行うので、復習しておくこと(2時間)			
	34 35	【データベース/開発】SQL応用(正規化、グループ化、副問合せ)								
	36	【データベース/開発】SQL応用演習(正規化、グループ化、副問合せ)								
	37 38	【データベース/開発】SQL応用(ビュー、結合)								
39	【データベース/開発】SQL応用演習(ビュー、結合、制約)									
40 41	【データベース/開発】データベース総復習									
42	【ストラテジ/マネジメント】ストラテジ総復習									
43 44	【データベース/開発】システム開発総復習									
45	【ストラテジ/マネジメント】マネジメント総復習									
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業の中で確認テストを3回実施する。(3)授業の中で課題を指示する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。									
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	定期試験		◎	◎				50%		
	確認テスト		◎	◎		○		40%		
	受講状況					◎		10%		
履修上の注意										

科目名	コンピューターシステムⅢA											
科目名(英)												
単位数	6単位			時間数		90時間		担当者		姫野 マリ・松浦 仁志・染矢 裕美子 村上 香代・相原 希久子		
実施年度	2020年度			実施時期		前期		担当者実務経験		ITエンジニアとして開発業務に従事		
対象学科・学年	情報システム科・情報システム専攻科・情報工学科 1年											
授業概要	経済産業省主催 基本情報技術者試験の出題範囲に準拠し、IT人材として必要な基礎知識のうち、アルゴリズム分野に関する知識を学ぶ。 初心者でも理解できるよう基礎的な用語や考え方について体系的に学習し、演習問題を活用して習熟を図る。 プログラミングにつながるトレース力も身につける。											
授業形式	講義： ○			演習：		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標						
	○	○				手順書からアルゴリズムの基礎となるフローチャートを書くことができる						
	○	○				基本情報処理技術者試験午後の言語問題および擬似言語問題でトレースができる						
テキスト・教材 参考図書	はじめてのアルゴリズム(株式会社インフォテック・サーブ) 基本情報技術者午前問題集(株式会社インフォテック・サーブ) IPA午前免除試験過去問題集(麻生情報ビジネス専門学校)											
授業計画	回数	授業項目・内容								授業外学修指示		
	1-2	アルゴリズムの基本										
	3-10	基本データ処理(1) 変数と定数、カウンタ、集計										
	11	確認テスト①								授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	12-16	基本データ処理(2) 二重ループ、複合条件、フラグ／スイッチ										
	17-21	配列操作(1) 一次元配列										
	22-24	データ構造										
	25	確認テスト②								授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	26-28	配列操作(2) 多次元配列										
	29-31	探索アルゴリズム										
	32-35	整列アルゴリズム										
	36-37	復習、確認テスト②								授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	40-45	総復習、問題演習										
評価方法	(1)授業の中で確認テストを3回実施する。(2)宿題・レポートを数回実施する。 (3)定期試験(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合
	定期試験	◎		◎								50%
	確認テスト・課題レポート	◎		◎				○				40%
	受講状況							◎				10%
履修上の注意												

科目名	Webプログラミング演習 I A						
科目名(英)							
単位数	4単位		時間数	60時間		担当者	姫野マリ、村上佳代、松浦仁志、染矢裕美子
実施年度	2020年度		実施時期	前期		担当者実務経験	ITエンジニアとして開発業務に従事
対象学科・学年	情報システム科・情報システム専攻科・情報工学科 1年						
授業概要	Webサイトの仕組みやそれぞれの言語がどのように関連しているのかを理解し、Web開発の基礎となるHTML&CSS及びJavaScriptの学習する。また、実際にプログラムを作成することで、言語を問わずプログラムを作成する上で必要な考え方(アルゴリズム)は、どのようなものかを理解する。						
授業形式	講義：		演習：	○	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○		○			タイピングがスムーズにできるようになり、プログラムに出てくる英単語へ苦手意識がなくなる	
	○	○				HTML・CSSの違いやルールを理解し、見出しや段落といったよく使うタグを書くことができる	
	○	○				条件文・繰り返し文を用いたJavaScriptプログラムが作成できる	
	○	○				書いてあるプログラムやタグを理解し説明できる	
		○				よく使うタグを使ってホームページを作成することができる	
テキスト・教材 参考図書	教材①：『すらすら読めるJavaScriptふりがなプログラミング』インプレス出版 教材②：『HTML&CSSとWebデザインが1冊でちゃんと身につく本』技術評論社						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	HTML&CSS、JavaScriptを使ったWebページ作成体験(教材①)					タイピング練習、英単語予習復習(30分)
	2	JavaScript:教材①Chapter1(計算式と変数)					
	3	JavaScript:教材①Chapter2(条件分岐)					タイピング練習、英単語予習復習(30分)
	4						
	5	JavaScript:教材①今までの復習、Chapter3(繰り返し文)					タイピング練習、英単語予習復習(30分)
	6						JavaScriptの今までの復習(1時間)
	7	JavaScript:教材①Chapter3(break、continue、二重ループ、配列)					タイピング練習、英単語予習復習(30分)
	8						
	9	HTML&CSS:教材②Chapter1～3(HTMLの基本と書き方)					英単語予習復習(15分)
	10						
	11	HTML&CSS:教材②Chapter4(CSSを書いてみよう)					英単語予習復習(15分)
	12						
	13	HTML&CSS:教材②Chapter5(フルスクリーンページの作成)					英単語予習復習(15分)
	14						HTML&CSSの今までの復習(1時間)
	15	JavaScript:教材①Chapter4(関数)					英単語予習復習(15分)
	16						
	17	JavaScript:教材①Chapter5(JavascriptでWebページを操作)					英単語予習復習(15分)
	18						
	19	HTMLとJavaScriptを組み合わせ合わせてイベント処理の演習					英単語予習復習(15分)
	20						
	21	HTMLとJavaScriptを組み合わせ合わせてスライドショーを作成					英単語予習復習(15分)
22							
23-28	発表作品制作					作品制作に向けて今までの復習(1時間)	
29	総復習						
30							
評価方法	(1)授業の中で課題を指示する。(2)確認テストを数回実施する。(3)作品制作・発表を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	受講状況				◎		10%
	確認テスト	◎					10%
	課題提出	○	◎		◎		20%
	タイピング			◎	○		10%
	作品制作		◎		◎		50%
履修上の注意	再試験は実施しない						

科目名	一般教養ⅠA										
科目名(英)											
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		畠添正和		
実施年度	2020年度		実施時期		前期		担当者実務経験				
対象学科・学年	情報システム科・情報システム専攻科・情報工学科 1年										
授業概要	就職試験でのSPI試験の要素である、国語及び数学に関して、基本をおさえて理解出来るようになる。 中間に小テスト(1回)及び期末試験を実施し、理解度を把握し、フォローアップする。										
授業形式	講義：○		演習：		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標					
	○					就職試験頻出の漢字、同音異義語、四字熟語の読み書きができる					
	○	○				長文や図表を用いた数学問題で正しい式を考えることができる					
テキスト・教材 参考図書	就職筆記試験対策問題集(ウィネット)										
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1	国語:漢字の読み(1・2) 数学:式と計算(1)									
	2	国語:漢字の読み(3)、漢字の書き取り(1) 数学:式と計算(2)									
	3	国語:漢字の書き取り(2)、同音異義語(1) 数学:速さの基礎									
	4	国語:同音異義語(2・3) 数学:旅人算									
	5	国語:同訓音字、語句の意味(1) 数学:通過算									
	6	国語:語句の意味(2)、同意語・類似語 数学:流水算									
	7	国語:反対語、中間テスト対策(今まで学習したことの見直し) 数学:中間テスト対策(今まで学習したことの見直し)					これまでの学習内容で苦手とする分野を確認しておくこと(1時間)				
	8	小テスト(国語及び数学)					授業内容に係るテストを実施するので、復習しておくこと(1時間)				
	9	小テストのフォローアップ 数学:割合の基礎									
	10	国語:四字熟語(1・2) 数学:濃度									
	11	国語:ことわざ(1・2) 数学:損益算									
	12	国語:慣用句・故事成語 数学:順列・確率									
	13	国語:敬語、適語補充 数学:集合									
	14	国語:文章整序、文章読解 数学:推理									
	15	総復習					これまでの学習内容で苦手とする分野を確認しておくこと(1時間)				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する (2)授業の中で小テストを1回実施する (3)授業の中で課題を指示する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。										
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他 評価割合	
	定期試験	◎		◎						40%	
	小テスト	◎		◎						40%	
	受講状況							○		20%	
履修上の注意											

科目名	GCB I										
科目名(英)											
単位数	1単位		時間数		16時間		担当者		姫野マリ・小淵洋子・北島仁宇・村上香代 元田真史・染矢裕美子・奥野広成・松浦仁志		
実施年度	2020年度		実施時期		前期		担当者実務経験				
対象学科・学年	情報システム科・情報システム専攻科・情報工学科 1年										
授業概要	「感謝と思いやり」「自分のあり方」について講義、DVD、書籍を活用しながら、自ら考え、気づいたり、クラス内で話し合いや発表を行う。感謝と責任感、他者への思いやりを日常生活でカタチとして表現・実践できるようにする。										
授業形式	講義： ○		演習：		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標					
	○					キャリア実現の鍵は専門能力および発揮できる力(人間)であることを説明できる					
	○	○				感謝心が人間力の根底であることを説明できる					
	○	○				人間力を高めるためのマナーの重要性を説明できる					
テキスト・教材 参考図書	グローバルシティズンベーシック I (麻生塾)										
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1	グローバルシティズンを目指そう									
	2	「協働」の態度を持った学生生活									
	3	よりよい人間関係の構築に向けて～モラル・ルール・マナーの重要性～					グループワークのテーマについて自分の考えをまとめてくること(30分)				
	4	マナーの本質 I									
	5	マナーの本質 II									
	6	グローバルシティズンとしての日常									
	7	グローバルシティズンとしての目標					自分の目標をまとめてくること(30分)				
	8	グローバルシティズンとしての「志」に向けて									
	9										
	10										
	11										
	12										
	13										
	14										
	15										
評価方法	(1)宿題・レポートを数回実施する。(2)授業への参加状況。 以下を上記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、R(60点以上)・D(59点以下)とする。										
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他 評価割合	
	レポート	○		○				◎		50%	
	受講状況							◎		50%	
履修上の注意	再試験は実施しない。										

科目名	ゼミナール I A						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間	担当者	姫野マリ・小淵洋子・北島仁宇・村上香代 元田真史・染矢裕美子・奥野広成・松浦仁志	
実施年度	2020年度		実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	情報システム科・情報システム専攻科・情報工学科 1年						
授業概要	学校生活を送る上で必要となるマナーやルールを学び、学習を進めるうえで基盤となる力を身につける。 IT業界で働くキャリアイメージを明確にし、複数のメンバーと協力し、チームに貢献できる力を養う。						
授業形式	講義： ○		演習：	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
		○		○		学校や社会生活において必要なマナーやルールを理解し説明できる	
		○		○		社会的・職業的自立の意義を理解し説明できる	
				○		友人や教師と友好的にコミュニケーションできる	
				○		チームワークの重要性を理解し、協調的な働きかけができる	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	学校生活理解①・・・成績評価規定、学生生活規定、履修規定				学生便覧内の該当する規定を読んでおくこと(30分)	
	2	学習基礎力① ……予習、復習、ノート、プリント整理				勉強方法について教師やクラスメイトと相談しておくこと(30分)	
	3	学習基礎力② ……自身に適した学習スピードをチェックする					
	4	クラス内コミュニケーション① ……自己紹介				活動の振り返りレポートを作成すること(1時間)	
	5	IT業界の理解 ……目指す分野別キャリア				自分が目指す業界についてインターネットで調べレポートを作成すること(1時間)	
	6	学習基礎力③ ……自身の読解力をチェックする					
	7	クラス内コミュニケーション② ……情報共有				活動の振り返りレポートを作成すること(30分)	
	8	クラス内コミュニケーション③ ……チームワーク				活動の振り返りレポートを作成すること(30分)	
	9	学習基礎力④ ……IT基礎力(タイピング力)をチェックする					
	10	学習基礎力⑤ ……読解力が向上しているかチェックする					
	11	クラス内グループワーク① ……グループ勉強会					
	12	クラス内グループワーク② ……校外グループワーク					
	13	クラス内グループワーク③ ……学園祭クラス企画					
	14	学習基礎力⑥ ……IT基礎力(プログラミング力)をチェックする					
	15	学校生活の理解② ……定期試験規定				学生便覧内の該当する規定を読んでおくこと(30分)	
評価方法	(1)課題レポート(数回程度)の提出状況 (2)授業中に指示した課題の内容 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、R(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	課題レポート		○		◎		50%
	受講状況				◎		50%
履修上の注意	再試験は実施しない。						

科目名	ビジネスソフトウェア演習 I A											
科目名(英)												
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		河野明子・西原友紀			
実施年度	2020年度		実施時期		前期		担当者実務経験					
対象学科・学年	情報システム科・情報システム専攻科・情報工学科 1年											
授業概要	Excelを使用して、関数を含む表や表を基にしたグラフを作成する。 基本情報技術者試験の表計算問題に出題される関数の使い方を学習する。											
授業形式	講義:		演習: ○		実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△			
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標						
		○	○			Windowsの画面操作、文字入力ができる						
		○	○			Excelを使って表計算、計算式や関数の設定、グラフ作成ができる						
		○	○			基本情報技術者試験の表計算問題で出題される検索関数や論理関数を用いた式を理解できる						
テキスト・教材 参考図書	よくわかる Microsoft Word 2019& Microsoft Excel 2019 & Microsoft PowerPoint 2019 (FOM出版) 表計算問題がちゃんと解ける本(翔泳社)											
授業計画	回数	授業項目・内容						授業外学修指示				
	1	Windowsについて、ウィンドウ操作、入力・変換										
	2	入力・変換・IME使用方法、ファイルの管理										
	3	第5章_Excelの基礎知識／第6章_データの入力／第7章_表の作成(書式)										
	4	第7章_表作成(関数)／第8章_グラフ作成										
	5	第9章_データ分析										
	6	Excel 練習問題(総復習)						テキストの第5章～第9章を復習しておくこと(1時間)				
	7	Excel 実技試験						練習問題を復習しておくこと(1時間)				
	8	表計算問題 CHAPTER1 表計算の基礎										
	9	表計算問題 CHAPTER2 関数①IF、COUNTA、SUMIF										
	10	表計算問題 CHAPTER2 関数②INT、MOD、AND、OR										
	11	表計算問題 CHAPTER2 関数③VLOOKUP										
	12	表計算問題 CHAPTER2 関数④VLOOKUP、HLOOKUP、LOOKUP										
	13	表計算問題 CHAPTER2 関数⑤INDEX、MATCH										
	14	表計算問題 復習						表計算問題 関数の復習をしておくこと(1時間)				
15	表計算問題Excel 実技試験											
評価方法	(1)授業の中で確認テストを3回実施する。(2)宿題を数回実施する。(3)実技試験を2回実施する。 (4)授業態度で注意が多い学生に対し減点評価を行う。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合
	実技試験			○		◎						50%
	確認テスト			○		◎						20%
	宿題・レポート			○		◎		○				15%
	受講状況							◎				15%
履修上の注意	宿題・確認テストにおいて期限を守らない場合や基準を満たさない場合は、減点または追加宿題を設ける場合がある。 再試験は実施しない。											

科目名	情報処理試験対策Ⅰ						
科目名(英)							
単位数	1単位		時間数	24時間	担当者	姫野マリ・小淵洋子・北島仁宇・村上香代 元田真史・染矢裕美子・奥野広成・松浦仁志	
実施年度	2020年度		実施時期	後期	担当者実務経験		
対象学科・学年	情報システム科1年・情報システム専攻科1年・情報工学科1年						
授業概要	経済産業省主催 情報処理技術者試験の出題範囲に準拠し、各受験区分のレベルに応じた用語や知識の習得を行う。さらに演習問題を使用し、実践的な解答方法の演習を行う。						
授業形式	講義：○		演習：△	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				試験範囲内の専門用語について学び、意味を説明することができる。	
		○				試験範囲内における様々なIT技術に関する仕組みについて説明することができる。	
テキスト・教材 参考図書	各受験区分で指示があります。						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1-2	IPAが提示するシラバスに掲載されている用語を理解し覚える。覚えた用語の定着のために、午前問題を中心とした演習を実施する。				確認テストの範囲の復習をしておくこと。	
	3	確認テスト				間違えた問題のやり直しを実施すること。	
	4-5	理解し、覚えた用語を実践的に使用する演習を、基礎的な難易度の午後問題を中心に実施する。				確認テストの範囲の復習をしておくこと。	
	6	確認テスト				間違えた問題のやり直しを実施すること。	
	7	理解し、覚えた用語を実践的に使用する演習を、応用的な難易度の午後問題を中心に実施する。				確認テストの範囲の復習をしておくこと。	
	8	確認テスト				間違えた問題のやり直しを実施すること。	
評価方法	(1)確認テスト(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト	○	◎				60%
	受講状況				◎		40%
履修上の注意	総合評価が不合格の場合でも、再試験は実施しない。						